

熊野町

男女共同参画宣言都市

記念式典

平成20(2008)年

12月20日 土

13:30(開場13:00)~16:00

●式典内容

- ・「熊野町男女共同参画都市」宣言文の発表
- ・内閣府からの報告
- ・記念講演〈演題〉

「女(ひとり)・男(ひとり)が
生きやすい社会」

熊野町民会館ホール

広島県安芸郡熊野町中溝一丁目11番2号

入場無料

但し入場整理券が必要です。

※整理券は各公民館・生涯学習課にて配布します。

●主催 内閣府 熊野町 ●後援 広島県



記念講演〈講師〉ジャーナリスト 江森 陽弘

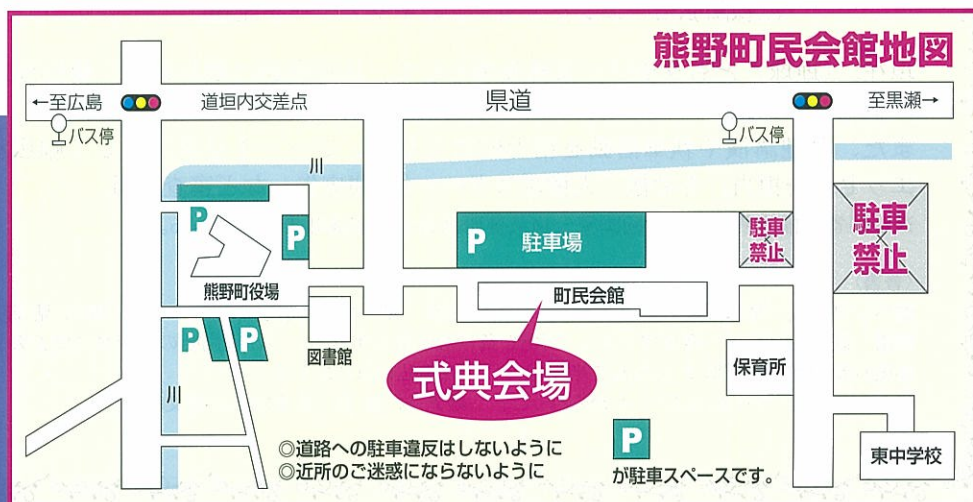
託児あり(事前にお申込ください)

手話あり

〈お申込、その他お問い合わせ〉

熊野町教育委員会
生涯学習課

TEL 082-820-5621



※駐車場が少ないため、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。 ※小学生未満は入場できません。

「男女共同参画宣言都市」について

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、また、男女が均等に様々な利益を受けたり、責任を担う社会のことをいいます。つまり、男女共同参画社会は、誰もが個人として自由な選択ができる社会であり、一人ひとりの能力がより発揮されやすい社会です。

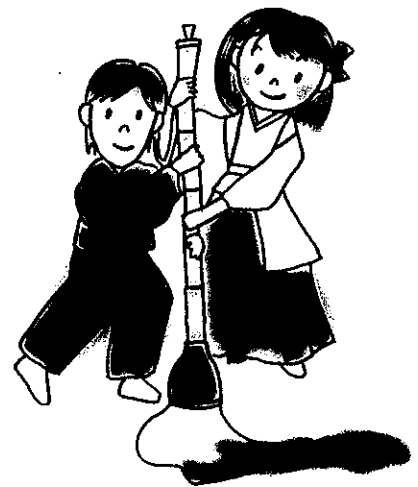
熊野町では、「三世代が住みよい緑の生活創造都市」を基本理念としてまちづくりをすすめています。このように一人ひとりの能力がのびのびと活かされ、男女が協力しあってこそ、三世代が住みつづけたいと感じられる魅力あるまちになると考えられます。

熊野町では平成20(2008)年2月に熊野町男女共同参画プランを策定しました。熊野町町制施行90周年の今年、男女共同参画社会を実現することを誓い、「男女共同参画宣言都市」になることを宣言するため記念式典を行います。

記念講演《講師のご紹介》

え もり よう こう
《講師》 **江森 陽弘 氏**

- 1932年 東京生まれ
- 1955年 早稲田大学教育学部国文科を卒業
- 1960年 朝日新聞社入社。社会部次長、週刊朝日副編集長、編集委員を経て
- 1988年 朝日新聞社を退社。尚、朝日新聞編集委員を務める傍ら、「江森陽弘モーニングショー」のキャスターを兼務。



現在、「地球こどもクラブ」常務理事として、地球問題に取り組む。朝日カルチャーセンター「文章教室」の講師、季刊誌「SOLA(ソラ)」編集長を務めている。

また、各地講演や執筆活動を精力的にこなし、ジャーナリストとして幅広く活躍中。「人権のひろば」でエッセイを担当。その他「人権ポスター」「新聞広告」など審査委員。

※法務省人権擁護局で年2回国家公務員等研修会の講演講師を勤めている。

《著書》

- ベップ出版「金子光晴のラブレター」 ●汐文社「新宿歌舞伎町」 ●二見書房「伊藤素子 愛の罪をつぐないます」
- 講談社「もう一度ロマンス」「50代 負けない男の生き方」「江森陽弘のビジネスマンの文書作法」
- 朝日新聞社「乙羽信子 どんご半生紀」「江森陽弘の気になる女たち」
- クロビュー社「いじめっこ・いじめられっこ」 ●光村図書「江森陽弘の作文教室」